

2023年夏の

きれいな茶通信

つなぐ健康
日本本社

発行：2023.6



「さらさらきれい茶」工場見学へ行ってきました♪

お陰様で「さらさらきれい茶」は、来年25年目を迎えます。そこで昨年10月、気持ち新たに、20年振りに株式会社ファイナルさんへおじゃまして来ました♪

皆さまが長年親しんで下さっている「さらさらきれい茶」は、自然豊かな鳥取県の真心溢れる素晴らしい工場で、愛情いっぱい製造していただいています。
(写真右下:2003年5月16日の工場研修は、弊社スタッフと森下会長&門脇社長)
(写真左下:ネットから拝借)



最新の設備、素晴らしい技術、正確さ、迅速さ、清潔さ、誠実さ、行き届いた配慮、どれをとっても日本一!!とを感じる立派な工場です。作業衣に着替え、しっかり手洗い・消毒して入室、荷物の積み下ろしをするドッグシェルター(温度管理が必要な倉庫や工場などで使用される密閉型の入出庫口装置)・資材置き場・開梱室・焙煎室・ブレンド室・バック加工や包装が行われる作業場・試飲や感応検査などをする品質管理部のお部屋まで全て見学させて頂きましたが、至る所に細かな配慮が沢山あって、メモでは間に合わないくらい盛り沢山の内容でした。

工場内のお写真は「企業秘密」ですので、許可を頂いたものだけ掲載させて頂きます。とにかく異物のチェック・金属の除去・特に虫の混入を防ぐための様々な工夫や設備が至る所に徹底されていました。例えば、ホコリや虫を防ぐための二重シャッター。異物を防ぐために木製のパレットは一切使わないetc中でも工場内の動線に合わせて行われている室内の「陽圧管理」に驚きましたし、空調の風による異物の混入や商品の重量計測等への影響を防ぐため「エアースックダクト」というフィルターが導入されていることも学びました。(写真:ネットから拝借)

また一回の作業ごとに全ての機械は清掃されるのですが、1回の機械の切替清掃に1時間もかかるそうです。繁忙期には、一日中機械清掃を担当するシフトもあるそうで、実際に清掃を終えて組み立てている所を見せて頂いたのですが、細かくて正確さが求められる作業はとっても難しいそうでした。これらの地道な作業は、どれも手を抜くことのできない肝心の作業で、日々この精密な作業を重ねて頂いてはじめて皆さんのお手元に「さらさらきれい茶」をお届けできるわけです。

更に、色・香・味のチェックは、プロの研ぎ澄まされた感覚を活かして、機械ではなく、しっかり人の目と口で「官能検査」が行われます。検品の技術にはそれぞれ資格があって、実践を重ね高い技術を身に着なければ得られない難しい技術なのだそうです。他にも菌検査や温度・湿度による検査など、安心安全のための徹底した品質管理がされています。

「さらさらきれい茶」をご愛飲いただいている全てのお客様に見学して頂きたいくらいです。一度見学していただいたなら、更に惚れ惚れ安心して「ずっと、さらさらきれい茶じゃなくちゃ!!」と思って頂けるに違いありません。私もベルトコンベアで「さらさらきれい茶」が流れてくる度に「可愛い・可愛い♡」と連呼しながら、愛着増し増しでした(艸*)♡

25年前の試行錯誤の開発時代から、今も変わらず、ひと箱ひと箱、大事に製造して頂けること、本当に感謝してもきれません。

そしてもう一つ、素晴らしい工場の決して忘れてはならない『決定打』が、皆さんの「想い♡」なんですね!大勢いらっしゃるスタッフの皆さんが、それぞれの役割に誇りとプロ意識を持って妥協せず、真心込めて作業して下さるこの「想い♡」は、決して誤魔化すことのできない【目には見えない大切な原材料の一つ・隠し味】だと言えますよね!
これは他のどんな工場も、どんな大手企業さんも、きっとファイナルさんには敵わないし、真似できない最大の魅力だと確信しています。

ただ何となくお給料のために働くのではなく、使命感を持って、一寸の隙もないほどの濃い集中力と精密機械を駆使しながら、妥協なしの厳しい目で製造ラインをチェック、瞬時に合格or不合格を判別して、細かに正確に仕上げの作業して下さるんです。

「えっ、コレどこがダメなの??」と思うほど、不合格で弾かれているピローも山盛りでした。(写真右下:不合格で弾かれたピロー)それほど厳しいチェックに合格したものだけが、皆さんのお手元に届いているのです。

今回その現場を、私自身20年前よりも成長した目で見学させて頂けたこと、現場の皆さんの空気感・真剣勝負の実際の作業を目の当たりにできたこと、貴重なお時間を割いて細かく説明しながら工程順に見学させて頂けたこと、心から感謝の気持ちでいっぱいでしたし、本当に頭の下がる思いでした。

そして、皆さま愛飲して下さる「さらさらきれい茶」が、この素晴らしい環境と素晴らしいスタッフの皆さんの手によって出来上がっていることを何とでもお伝えしなければと思いました。

これから世の中は、益々【本質の時代】へと加速していきます。ただ目先の利益のために「儲けるための商品」をつくり販売するのか、はたまた、ご愛飲下さる方々を思い浮かべながら「安心安全で美味しく健康をサポートになる商品」をつくり販売していくのか、この【想い♡】のあるなしが【本物か否か】の違いではないかと思います。

私自身こうして丁寧に作って頂いている「さらさらきれい茶」を誇りに思いますし、だからこそ開発当初から10年、20年と2世代、3世代で長くご愛飲下さるりピーターのお客が多いのだと感謝の気持ちでいっぱいです。ファイナルさんで想いを込めて作って下さった「さらさらきれい茶」が、手にされたお客様に「心地良いエネルギー♡」として、しっかり伝わっている証拠ですよ!!

企業も商品もサービスも私達一人ひとりも、様々な本質が問われ、偽物が淘汰されていく時代だからこそ、より一層必要とされ、必ず皆さんの健康のお役に立てるお茶だと思います。皆様には、安心して末永くご愛飲いただきたいと思えますし、是非、大切なご家族やお友達にも薦めただければ幸いです。

今回の記事を書くにあたりまして、お忙しいなか、見学のお手配をして下さった株式会社ファイナル門脇社長様はじめ、全てのスタッフの皆さまに心から感謝いたします。お目にかかれて光栄でした。また是非、お邪魔させてください(艸*)



皆さん、お久しぶりです(^^)/



「皆さん、お元気ですか!?お久しぶりです♪山口勢子です。」
という事で、昨年の世代交代から長らくご無沙汰しておりましたが、長年母を慕って下さる沢山のお客様からの相次ぐ「ラブコール♡」にお応えて今回の近況報告となりました(*艸*)♪(写真:引退のお疲れ様会に孫&娘との一コマ)

ここ数年の母の近況と経過をお知らせすることは暫く悩み、慎重に検討を重ねましたが、母とも相談しまして「**如何なる時も、医療者として必要な情報をお伝えしたい**」という想いから、私達親子が実際に体験した『認知症・高齢者医療・介護の現場』について、感じたこと、気づいたこと、ありのままにシェアさせて頂こうと思います。

長くなりますが、最後までお付き合い下さいね。
昨年の4月末に母が『アルツハイマー型認知症』と診断されてから1年が経ちました。
実は、私は7、8年前から母の異変に気付いたのです。なぜなら、長年寝たきりの患者さんや認知症の患者さんへの訪問マッサージ&機能訓練の業務に携わっていたからです。



私の前ではいつも眉間にシワを寄せて不機嫌そうな顔をしていて、仕事に集中できなくなっていました。自分が思うようにできないことを何でも私や誰かのせいにして、イライラしたり、気に入らないと事務所から飛び出して出かけたり、ヒステリーを起こして八つ当たりをしたり・・・

コロナ禍の辺りからは、お天気の良い休日も、寝室のカーテンを締め切りにして家にこもり、部屋の中に大きなホコリが溜まったまま過ごしていることもありました。得意だった料理はほとんどしなくなり、菓子パンやお弁当やお惣菜ばかり購入するようになりました。これは鬱や無気力といった症状だったのではないかと思います。

その程度ならまだ良かったのですが、次第にイライラや不安感が酷くなると「この出来損ない!ろくでなし!役立たず!失敗作!生むんじゃなかった!会社を乗っ取ろうとしている!泥棒ネコ!性悪女!悪魔の子供!」そんな辛辣な言葉が飛んでくることも増え、何度も病院への受診を勧めましたが、その都度大喧嘩を繰り返しました。

「よりによって、なんで認知症なの!!!!もう、しっかりしてよーー!!!まさか自分の母親が・・・と、何とも言えない腹立たしささえ感じました。

耐えきれず、一旦母の会社を離れ、在宅医療の仕事に復帰しましたが、数カ月も経たないある時、当時の税理士さん(見習い)から、コロナ禍と母の異変を理由に経理の業務を辞めたい旨連絡があり、そのまま放置され手付かずになってしまいました。

更に、パートさんも家族の介護や仕事の都合で退職されたので、母一人では通常業務がこなせず、結局、取引先の営業さんからのSOSを受け、私が会社に戻ることに・・・。ちょうど私も、起業しようと訪問マッサージの開業届を提出した矢先の出来事で、当時は担当の患者さんも沢山いらしたので、2年ほど昼間は自分の訪問マッサージの仕事、そし

て夜と休日に母の会社(つなぐ健康)を手伝う日々が続きました。いま振り返ると、よく頑張ったなぁと思うほど、とにかく心も体もしんどかったです。(訪問マッサージと機能訓練の仕事は、かなりの集中力と精神力を要する肉体労働です)私には、兄と弟とそれぞれお嫁さんがいますが、肝心な時には全く協力してくれず・・・。

当時は、落ち着いて母の感情まで配慮する余裕がありませんでしたが、今思えば母も自分の異変に気付いていたからこそ、不安と恐れで、ただただ私に八つ当たりすることでした、その気持ちを発散できなかったのかも知れません。

弟の出産時に臨死体験をして以来、病院のお世話になることもなく健康そのもの!!まして自分が患者さんやお客様にアドバイスをさせて頂く立場で、遊ぶこともなく、仕事一筋に会社の経営をしてきたのですから、仕事や立場、役割、今までの人生で築いてきたもの全てを失うかも知れない恐怖は計り知れないものだったのだと思います。



もう限界・・・.と思った頃(毎日、もう限界!と思っていました)が現在お世話になっている良心的な税理士先生との出会いがありました。

有難いことに、この先生は90代のお母さまの介護もされていたので介護事情にも詳しく、私達親子には心強い応援団となって下さいました。「君がやるしかないよ!」先生の一言で、私は提出したばかりの開業届に「廃業届」を出し直して、心機一転、つなぐ健康を引き継ぐことを決心しました。

とは言え、引き継ぎが全くできない状態でのパトタッチとなりましたので、なかなか大変なこともありました。そして、お取引先様やお客様にご迷惑をお掛けしないよう試行錯誤しながら、またご理解・ご協力を頂きながら、今、何とか就任から2年目を迎えることができております。

もちろん、会社の業務をこなしながら母の介護をすることは、私一人ではどうても無理ですので、母は施設でお世話になっておりますが、これがまた実際に体験しなければ分からない多くのことを見聞きし、学ぶ貴重な機会となっています。



皆様にも参考になるとと思いますので、今後何回かに分けて、高齢者医療の意義、また介護の実態、良いお医者さん見分け方、薬の服用についてお伝えしていきたいと思っています。

主治医の先生によれば、母のアルツハイマーは、脳の萎縮が前頭葉と側頭葉に確認される【**前頭側頭葉変性症(指定難病127)**】だそうで「おそらく10年くらい前から軽い鬱を発症していたと思うんだけど、その頃に何かショックなことがなかった?」と聞かれ、考えてみると、ちょうど父が亡くなった頃と重なります。しょっちゅう喧嘩しながらも、父を亡くした喪失感が大きかったですね。



先生から「若年性で進行が早い分、できないことがどんどん増えると思うから、一般の老人ホームではなくて、専門の技術が身に付いたスタッフのいる特養に、早に移してあげた方が、お母さんのペースに合わせてストレスなくケアしてもらえるとと思うよ」というお医者さんならではの的確なアドバイスと手続き、税理士さんや施設の皆さんによるご尽力と有難いご縁により、この4月に無事に一般の有料老人ホーム『銀木犀さん』から特別養護老人ホーム『柏きらりの風さん』へ移ることができました。

ちなみに、母の体は健康そのもので、ほとんど自立していますので「要介護2」ですが、難病指定ということで、今回審査の厳しい「特例扱い」で特養に入りました。

(写真右:看護師さんに見守られながら、併設する保育園の子供達にプレゼントする雑巾を作成中)



結論から申し上げますと、いま現在の母は、不安も心配ごともなく、安心して長年の肩の荷を下ろし、のんびり穏やかに、お友達と一緒に楽しく、そして元気いっぱい、笑顔いっぱいで過ごしています☆

進行が早いと言われ特養に移ったのに、以前よりもイベントが多くて賑やかで、よく笑い、よくお喋りするせいか、1カ月足らずで記憶力が1年前よりハッキリして来ました。時々右と左で違う柄の靴下を履いたりしていますが、本人は「これがオシャレなの!わざとなのぉ~!」と自信満々に言い張るので、そのまま外出先へ連れて歩きます(笑)

そんな母に合わせて、大きくなった孫も「ばば、ハイセンスでお洒落だねえ(笑)」と。多少、話が通じにくいこともありますが、ほとんどのことが自分でできます。



しかも、ずっと「さらさらきれい茶」を飲んでいましたので、お医者さんから太鼓判を頂くほどの健康体!!

皆様からいただいた温かいメッセージを伝えると、「うんうん!〇〇さん、覚えてるよ!電話でいっぱいお喋りしたんだっけ。お元氣かしら?」と懐かしそうに、時々涙を浮かべて嬉しそうに話してくれます。そして会う度に「一人じゃ大変でしょ。大丈夫?ごめんねえ。ありがとう。ちゃんとご飯食べてる?休んでるの?」と、ニコリしながら労いの言葉まで掛けてくれます。



つい先日も「退屈する暇もないくらい、イベントが多くて本当に楽しいよ!みんなにマッサージを頼まれるんだけど、色々忘れちゃったから、この次は解剖学の本を持って来てくれる?」と、子供のような弾む笑顔で張り切っていました。

やはりね、「誰かに必要とされること」が大きな生き甲斐になるんですね!それから「喜び&楽しさ」を分かち合う家族やお友達が本当に宝物だと思います。

写真は、週末のエステイベントでお客さんに抜擢され 春らしくピンク色に可愛くお化粧していただいて記念撮影(*艸)♡

振り返ると、母は病院への受診を受け入れた時に、肩の荷を降ろせたようです。

主治医の先生が母より少し年上の女性でしたので、お互いの苦労話をしたり「女性は大変よねえ~。今まで頑張ったんだから、これからは上げ膳据え膳、ラクしてご褒美の人生を楽しめばいいのよ」と共感しつつ、明るく前向きに接してくれたので、母も安心して直ぐに打ち解けることができたのだと思います。これもお医者さんの技量ですよね!

そして驚いたのは、有料老人ホームでは常にマスクの装着を義務付けられていましたが、特養では入居者さんは皆ノーマスク!もちろん外出時は念のため付けるようですが、看護師さんも常勤で、医療との連携が整っているからこそ、**高齢者のマスク装着がかえって体の負担になることを熟知した上での判断なのだと思います。**お出かけのイベント予定も盛り沢山!

施設での面会は予約制ですが、外出や外食、外泊もOKなんです!!という事で、つい先日の土曜日は、母の恩師【帯津三敬病院:帯津良一先生】と、母が長年一緒に切磋琢磨しながら「ホリスティック医学」を学んだ大切なお友達(けさみさん&あけみさん)に会いに、川越まで出かけて来ました(AOΛ)/

(写真右:数年前のお食事会で帯津先生・けさみさん・あけみさんと)



銀座アスターで美味しいランチをいただき、高野フルーツパーラーでは、旬のフルーツ山盛りのパフェを堪能!御年87歳、現役の帯津先生からは、最新の著書をプレゼントして頂きました。帯津先生、2年前に母を診察して下さった時よりも一段とお若くなられたようでした♡



今回、私が実際に直面して1番感じるのは、医療者として患者さんと同じ向き合うことと、自分の母を介護するのでは全く違うということ。

皆様も、介護は一人で抱え込まず、できる限りプロの手を借りて下さい。

それが、家族みんなが仲良く元気に過ごせる1番の方法なのは間違いありません。



今までご縁を頂いた患者さんにも同じ想いで接して来ましたし、父を看取った経験もありますので、どうあっても「生まれて来て良かったあ!」そう思って最期の時を迎えて欲しい。医療者として、娘として、そう思います。

お伝えしたいことが山盛りで、話があちこち逸れましたが、高齢者医療・介護保険・医療者の在り方についてなど、今後もシェアさせていただきますね。



いつも母への温かいメッセージ、私への激励のお言葉、そして「さらさらきれい茶」への嬉しいお声と熱烈なラブコールを、誠にありがとうございます。そしてご不便をお掛けしている営業体制へのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

2023年4月26日
山口加奈子



体の健康だけでなく、心・魂の健康が鍵となる!?

ここから本番!!皆様にも通じるとても大切なことをお話ししますね。
母は、体は丈夫で健康そのものなのに、認知症になりました。「なぜ???

ただ真面目一辺倒に「**自分のこと・自分の時間を後回しにして、世のため・人のために役立たねば!**」そんな生き方を貫いてしまったからではないでしょうか?
もちろん、人の役に立つこと、世の中のためになることは必要で尊いことです、まずは自分が1番幸せでないと、誰かを幸せにすることなんてできないと思いませんか?

本当の意味で、**自分を幸せにできるのは自分だけ!**

自分一人だって、十分幸せ♪更に一緒に楽しめる家族や友人がいれば、なお幸せ♪
そう思えたら、喪失感なんて感じる暇さえないくらい、HAPPY♡でいられるはず。

ならば、自分を不安や心配や重責で雁字搦めにするのではなく、心を豊かに喜びで満たすためにも、やっぱり「遊び心・トキメキ」が欠かせませんよね(*艸*)
これ、私自身にも言い聞かせております(笑)

「病は氣から・・・」という言葉があるように、
**「体」だけ健康でもダメなんです!!「心」だって健康でないと!!
もっと言うと「魂」から健康でないと!!!**

BODY(体)・MIND(心)・SPIRIT(魂)

このバランスが真の健康と幸せの鍵になるんですね!

これまで弊社では、母が医療者として長年学び身に付け、実践してきた技術や知識、
沢山の素晴らしい先生方の著書やお話・大切な情報などをご紹介しますことができました。

ですが、昨今これらの情報は「得たい!」と思えば誰もがインターネットにアクセスしてご自分の力量とご自身の選択によって、幾らでも入手することができます。
そして、どんなに有名で偉い人のお話も、どんな技術もどんな情報も、**必ず等しく全員に作用するわけではない**ので、ただ鵜呑みにするのではなく、沢山の情報の中からご自身に合った心地良いオリジナルの概念・アイデアを見出していくこと

が重要なのだと思います。

ですから、今後私が努めて参りたいのは、医学や医療の知識・情報だけでなく、むしろ目には見えない心や魂にまでフォーカスを当てた「**真の健康や豊かさ&幸せを得るため**」に有益な情報のシェアです。

【エネルギーの世界で起こったことが具現化していく】

これが「**宇宙の法則**」だと言われていています。ならば真の健康と幸せを手にするために、今、もう目の前で起きてしまったことを、いつまでもクヨクヨ思い悩んだり、反省したり、後悔したって仕方ない!!

今この瞬間の自分のエネルギー(周波数)を育て、思考を書き換えて、日々の変化を楽しみながらより良い未来を描いていくことしかありませんね!誰もが生まれて来るときには、今生の課題や目標や目的を決めてきます。そして例外なく、**誰もが幸せにならために生まれてくる**のです。なのに、その課題や目標や目的を思い出せないまま、ただ何となく生きてしまったら、たった一度のこの人生、間違いなく悔いが残ってしまいますよね。

私自身、小さい時から「見えない世界」との交流があり「自分が何者で、なぜ地球に生まれて来たのか?」その答えを求め続け、今まで相当数の霊能者・ヒーラー・チャネラーに会いに行きました。残念ながらそのほとんどが反面教師。その後、患者さんとの関わりや父を看取った経験、母の介護を通じて、命について思いを馳せる機会を重ね、昨今ようやく「見えない世界の真実」を伝えるべく奮闘していらっしゃるメンターと出会えました。

両親にさえ自分の特質を理解されず、ずっと生まれて来てしまったことを後悔しながら生きて来た私ですが、今後、私自身も本来の能力をしっかり使いこなして自分をより幸せに豊かにし、更に皆さんのお役に立てるよう、エネルギーワークや学びを重ねパワーアップして参りたいと思います。皆様にも是非、心や魂といった「目には見えないけれど確かに存在する大切なもの」へ、より一層の興味関心を持って頂ければと思います。

是非一緒に、真の健康と豊かさ、幸せを手にして参りましょう!

健康の秘訣とカラダのためのお勧め図書2冊とWEBサイト



八十歳からの最高に幸せな生き方

著者: 帯津良一 青蘭堂 1,430円(税込)

御年87歳、まだまだ現役で診察も講演活動も太極拳も実践されていて、貴重なお休みの日もお誘い人気者で、肝肝日なしの帯津良一先生、最新の著書。「心を柔らかく」「ときめき」と言う言葉が繰り返し表現されています。「どう生きるか?」について、興味深いとても大切なことばかり、分かり易く書いて下さっているので、年代を問わず是非多くの方にお読み頂きたいです。



ささない鍼、ほっこり温かい灸を続けて

著者: 小林けさみ ギャラクシーブックス 1,430円(税込)

母と同じく鍼灸師で、長年の大切なお友達である小林けさみさんの著書 いつも温厚で柔らかな、けさみさんらしい穏やかで優しい言葉で、命の素晴らしさ、病気や不調との関わり方、人々との心の交流、健康の秘訣を書いて下さっています。

【お勧めWEBサイト】ホリスティック医学協会

帯津良一先生が名誉顧問を務めていらっしゃいます。

<https://www.holistic-medicine.or.jp/study/world/>

学生さんや一般の方も参加できるセミナーや講演会もありますので、是非ご興味のある方はイベントページをチェックして下さいね!

【ホリスティックな生き方】これが、グローバルスタンダードです(^3^)



Facebook、Instagram、Twitter、公式ブログのご紹介&フォローのお願い♪

皆さまとの交流の場として、キャンペーンのお知らせや商品の活用方法、また大きな声では言えないこと、お客様のお声、社内の出来事、スタッフの日常など色々な情報を楽しく発信して行きたいと思っております。是非フォローして頂いて、お客様のお声やアイデアなどシェアして下さい(^.^)



@sararakirei



@KanakanoYamaguchi



@sararakireicha



<http://blog.sararakireicha.jp/>